

●「タンポポ調査」を実施しました●

本校も所属している日本学校農業クラブ連盟では、毎年、FFJ環境調査を行っています。FFJ環境調査とは、全国49連盟・約7万5千人の農業クラブ員ひとりひとりが比較的簡単に楽しみながら、主体的な調査活動を通してクラブ員の科学性や環境問題について考える力などをはぐくむことを目的とした活動です。

令和7年度のテーマは昨年度に引き続き、「タンポポ調査」～第2弾～「在来種を探そう」です。4月21日（月）、3学年「地域資源活用」の時間を活用して、学校周辺のタンポポ調査を実施しました。2班に分かれて、タンポポの種類・周辺の状況・株数などを記録していきましました。



学校周辺に自生するタンポポのほとんどは、外来種のセイヨウタンポポでした。しかし、在来種のカントウタンポポや東日本では珍しいシロバナタンポポも発見できました。本来は西日本地域に多く分布するシロバナタンポポですが、薬草として関西地方から佐渡に持ち込まれたものが野生化し、佐渡でも分布するようになりました。



＜シロバナタンポポ(左)とカントウタンポポ(右) 日本在来のタンポポです＞

調査後は、タブレット端末を用いて調査のまとめを行いました。生徒が共同編集して入力した表を集約し、本校の調査結果として提出する予定です。

